



手に持っているのはお気に入りのカルティエの一点モノ。友人アニエリが作ったパテックのモデルを真似て作ってもらったこの時計は、後にカルティエ社自身が買い取りたいと言ってきたが断ったそう。

コレクションは、私の生き方そのものなのです

チャールズ皇太子とボロに興じ、ソフィア・コッポラの映画には俳優として出演。時計2000本、靴2000足、ネクタイ3000本からガラクタのようなおもちゃに至るまでさまざまなものをコレクション。伊語、英語、仏語、アラブ語、ポルトガル語の5カ国語を流暢に操り、ウィークデイはベリーズ、ロンドン、パリ、そして週末は伊ピエモンテ州の自宅へと飛び回る。ヌンツィオ・アルフレッド・ダンジェリ氏のアクティビティの一部を羅列するとこんな感じだ。この謎のジェントルマンの正体はベリーズの元伊大使、同国の現欧州担当相。銀行家、投資家でもあり、「フォーブス」誌の世界の資産家

トップ600の一人にも選ばれた人物だ。「私は何にでも自分のこだわりがあります。時計のベルトは基本的に白のみ（贈られたものはそれに限りませんが）。シャツは基本的にクレリックシャツのみで、作ったシャツには年号を入れますが、作った年には着ません。靴は、新品は履かずに人に1年くらい履かせてから使います。香水は自分の調香師が作ってくれたもの、シャンペンはキュヴェ・ビーエル・ド・カルティエで自分のオリジナルを造っています。あ、それから私はイタリア人ですが、コーヒーは飲まず、飲むのは紅茶。これもこだわりです（笑）」身に着けるものがすべてス・ミズーラ

で、コレクションしているロルス・ロイスのうちお気に入りのシルバー・レイスは内装をエルメス仕様にしたたり、時計はカルティエに一点モノのモデルを作ってもらったり。好きなものは決まっています、例えばクルマはベントレーかロルスのみ、靴はジョン・ロブかエドワード・グリーンのみ、という具合だ。「私は古いモノが大好きだし自分の好きなものを捨てるのが忍びなくてこんな膨大なコレクションになってしまったのです」真の好きなものに囲まれる生活というのは、この上ない贅沢だ。それがみな上質のモノならなおさらのこと。 123